

NPO法人 熊本まちなみトラスト
第37回理事会(200127)出欠表

氏名	理事会 200127 出欠	出席 人数	委任 出席 人数
1 青木勝士	○	1	
2 麻生田栄壽			
3 伊藤重剛	○	2	
4 磯田桂史	○	3	
5 磯田節子	○	4	
6 岡裕二	× 理事長		
7 工藤栄一郎	× 理事長		
8 幸田亮一	× 事務局長		
9 西郷正浩	× 理事長		
10 柴田祐	× 理事長		
11 竹田宏司	○	5	
12 田中尚人			
13 鄭 一止(いるじ)	× 事務局長		
14 辻 泰明	○	6	
15 豊永信博	○	7	
16 長野聖二			
17 西嶋公一			
18 富士川一裕	○	8	
19 藤本秀子	○	9	
20 松波大仁	○	10	
21 宮野桂輔			
22 宮本茂史			
23 矢野和之	× 理事長		
24 山田穰	○	11	
25 吉野徹朗			
1 荒木幸介			
2 齊藤修	×		
会員(コア会員)			
1 本田憲之助			
2 森 純子			
3 両角光男	○	12	
4 上野美恵子			
5 上農淑子			
6 清水照親			
7 坂口秀二	○	13	
8 西島衛治			
9 西島真理子			
10 早川祐三			
11 松崎範子			
12 清永泰弘			
13 古賀元也			
14 濱田康成			
15 中田浩毅			
16 東久美子			
17 伊原登志郎			
18 石原靖也			
19 佐々木翔多			
20 反後人美			
21 三國隆昌	○	15	
22 池田由美			
23 黒瀬商店			
24 田中達俊	○	16	
25 原野利一	×		
26 高田真人			
27 平山武久			
28 平山偵久			
29 中島淑子			
30 村上亜紀			
31 後藤環			
32 坂井亮太			
33 石橋雅子			
34 熊本ビル部			
35 加瀬島正剛			
36 田上裕			

◆前回(12/23)例会以降の経過
KMT事務局会議【富士川・松波・菊池】

被連協清永部会(回)【磯田桂史・富士川】
12/24(第108回)～1/22(第111回)

【旧住友部会報告】

本日例会にカーリーノ・田中部長出席にて報告
熊本市との接触、カーリーノの考え
市条例制定6月までの暫定利用・・・等

【助成金報告】

①HC財団:今年度事業実施中
②三井物産環境基金:不採択通知(1/20メール)
②お金を回そう基金
クラウドファンディングスタート12月10日ごろ
★周りから盛り上げる必要性アリ

【出前講座】日本都市計画家協会との共催

第1回 11/20 第2回 12/17(火)
第3回 2020. 2/4 予定 いずれも@PS

【県大GP】

学生GP(地域連携型卒業研究)
12/12(木)公開審査会→共同研究続行
1/22県大でミーティング 1/28唐人町共同調査
次年度も継続予定

▼資料

【日本イコモス賞記者発表】

1/16 @PS・・・反響大

P3

◆今後の予定

P4-7

◆議決事項(本日の検討事項)

1 トラストの財政逼迫の現状と対応方針

P8

2 カーリーノ・田中部長の報告と提案

3 熊本市歴史まちづくり計画のパブコメ対応

別冊

本日の会議の進め方

1 報告と今後の予定 10分
2 議案1 財政部会立上げ 10分
3 議案2 カーリーノからの報告と提案 20分
4 議案3 れきしまちづくり計画パブコメ議論 1時間

理事 11
会員 4
合計出席者 15

(+委任状出席7=18>理事総数25×1/2

1. サンカグドライブキャンペーン WE♥三角線「三角線開業 120 周年記念歴史まち歩き」 主催

主催：NPO法人熊本まちなみトラスト

場所：三角線沿線

コース距離： 7.0km

2019(令和元)年 11 月 30 日(土) 9:00～15:00

当日の気候： 快晴 / 最高気温 16.8℃

参加者： 6人

熊本まちなみトラスト会員： 辻泰明・三國隆昌・西島真理子

一般参加： 藤井ゆみ(NPO 法人ななうらステーション理事長：佐敷駅などの委託管理)
池田ともお(三角出身、関東に就職、定年退職後に U ターン)
関野道代(三角出身、千葉県から新町のマンションに J ターン)

参加費： 500 円(資料代、保険代)

広報： サンカグドライブキャンペーンサイト、Facebook

辻個人の声かけ(Facebook、チラシ)

熊本日日新聞朝刊 11 月 12 日「学ぶ&チャレンジ」

昼食： レストランあいランド(就労継続支援B型)

立寄処： 済生会みすみ病院(トイレ休憩)

吟将製菓、デザイン工房マウス

主催：NPO法人 熊本まちなみトラスト

WE♥三角線
「三角線開業120周年記念
歴史まち歩き」

サンカグドライブ LOVEキャンペーン



関連行事： 当日、海のピラミッドで開催されたサンカグドライブマルシェ
にあわせて「みすみ今昔写真展」を実施。

大越順子(大番)、宮川瑞代(宇城市地域おこし協力隊)ら主催。

辻紹介のせんだいメディアテーク「どこコレ？」の手法。



三角駅までの集合写真



三角線建設で破壊された鳥崎岬古墳の
埋葬品供養碑も案内



みすみ今昔写真展

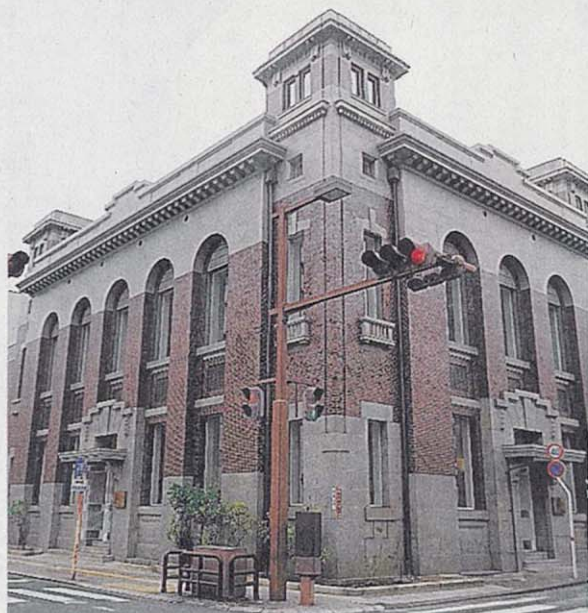
被災城下町の遺産 復興に功績

「熊本まちなみトラスト」に日本イコモス賞

地域に寄り添い行政と橋渡し



日本イコモス国内委員会の荻谷勇雅副委員長（左）から受賞の通知を受け取る伊藤重剛理事長ら＝熊本市中央区中唐人町の「PSオランジュ」



2016年の熊本地震で被災した城下町の建物など文化遺産の保護に尽くしたとして「熊本まちなみトラスト」（伊藤重剛理事長）が、日本イコモス国内委員会の「日本イコモス賞」を受賞した。NPO法人としては2例目という。伊藤理事長は「試練になった3年間の活動が認められありがたい」と喜んだ。

熊本地震では、約30年の「後から被害状況の調査を開始活動実績を踏まえ、震災直」始。被災者に寄り添い、復

旧にグループ補助金を活用したり、県、市との橋渡しをして復旧につなげたりした。世界各地で文化財保存の活動をするワールド・モニュメント財団（本部・米国）とも協力関係を結び、復旧に数億円の費用がかかったとされる熊本市中央区中唐人町の「旧第一銀行熊本支店」など、周辺に残る明治、大正期などの貴重な建物の復旧支援につなげた。

全国で次々に災害が発生し、復旧できず壊される建物が多い中、「熊本のみならず全国の復旧・復興の良きモデルとなった」と評価された。

「まちなみトラスト」は、大学研究者や建築家らが1986年に発足させた研究会が始まり、県内に点在する歴史的建造物を保存、活用しようと、経済人も加わり97年に現在の名になった。

江戸期の熊本城下の町割復旧された旧第一銀行熊本支店の「PSオランジュ」

りが残り、明治、昭和初期の建物が多い「新町」「古町」を中心に、国、県、市の重要文化財だけでなく未指定の貴重な建物の調査や研究を続け、所有者や住人らとの交流、保護活動が続けてきた。

新町・古町には明治期以降の建物が2007年には約450軒あったが、16年までに約350軒に減少。熊本地震後は150軒以上が取り壊されたという、建物保存へ課題も多いと話す。

伊藤理事長は「町並みも文化の一部。文化遺産として古い建物を継承していくには、日ごろからの取り組みを通じ市民の意識を高めておくことが大事。ますます活動に力を入れ歴史と伝統、文化を継承していけるよう努めたい」と力を込める。授賞式は3月14日に東京である。

日本イコモス賞は、文化遺産の保存に貢献した人などを対象に14年に設けられ、これまで8個人・団体が受賞している。（矢嶋秀樹）

今後の主要行事

2020（令和2）年

2月4日（火） 出前講座第3回 18:30@PS オランジュリ

3月21日（土） 唐人町震災復興イベント 14:00～ @PS オランジュリ

4月27日（月）（総会）直前理事会

4月29日（水・昭和の日）サンカクドライブ トラスト主催はこの日一日
三角のまち案内（辻理事）
イベント全体は3月20（金・春分の日）～29（水・昭和の日）

5月16日（土）【仮】年次総会

6月19日（金） 文化財保存修復学会イクスカーション街案内 15:25～
6月20（土）－21（日）同学会 in 熊本（熊本城ホール）

7月23日（木） WMF 理事長来熊
ベネディクト理事長・ダーリン副理事長・ブルック理事＋稲垣
24（金）午前も若干のご案内イクスカーション

総会までのタイムライン

- 4月理事会＝5月総会の直前理事会 総会議案の承認
理事の任期 更新時期
- 3月理事会＝次年度活動方針の承認
- 2月理事会＝予算方針＝資金確保のこと議論

復興イベント企画案

名称:熊本地震からの文化遺産復旧報告会

日時:2020(令和2)年3月21日(土)14:00ー15:30

場所:PS オランジュリ

主催:NPO 法人熊本まちなみトラスト

趣旨:平成28年熊本地震から4年が経とうとしている令和元年度末(2020年3月)、ワールド・モニュメント財団(WMF)の支援を受けた中唐人町と西唐人町にある被災した文化遺産5軒の復旧工事が完成します。ほかの町屋の復旧もあわさり、この界隈の文化遺産の復興が熊本の城下町・新町古町のまちの記憶をつなぎ希望を育む共感財として今後のまちづくりの拠点となることが期待されます。そこで、支援をしていただいたワールド・モニュメント財団にお礼の気持ちを伝えるとともに、復旧工事の報告とお祝いの会を開催いたします。市民みんなのお祝いですので一般参加歓迎です(入場無料)。

Program

14:00 開会と趣旨説明(熊本まちなみトラスト)

14:10ー14:20 WMF への謝辞(被災文化遺産所有者代表(清永幸男))

14:30ー15:20 復旧工事経過報告 10分×5=50分

清永本店 (設計者:富士川一裕、入江雅昭)

西村邸 (ヘリテージマネージャー:山川満清)

N.Hピュアリィ (設計者:坂井信彦)

塩胡椒 (同上)

PS オランジュリ (施工者:清水建設・切通晃二)

15:20ー15:30 講評 (WMF 日本代表:稲垣光彦)

15:30ー15:40 竣工後のこれから (PS(株):平山武久)

15:45 閉会

チラシには

「見学会はいたしません、営業店舗には是非ご来店ください。」と入れる

終了後

16:00ー17:30 PS オランジュリ→塩胡椒→N.H.ピュアリィ→西村邸→清永本店
の順で稲垣さん(WMF 日本代表)をご案内

地域主体のまちづくりを学ぶ まちづくり出前講座

第1回講座 2019(令和元)年11月20日(水)18:30~20:00

場 所:PSオランジュリ(中央区中唐人町)

テーマ:自分たちで進めるまちづくり(やさしい入門書をご用意します)

まちなかの活性化、住宅地のマネジメントをテーマに、住民や商業者等の地域が主体となってまちづくりを進めるための考え方やコツをお話します。認定NPO法人日本都市計画家協会では、これらのまちづくりを推進するために「みんなのまちづくりNOTE」をつくりました。この内容に沿ってお話します。



講師紹介

内山 征(うちやま すずむ)

株式会社アルメックVPI 執行役員
認定NPO法人日本都市計画家協会理事
コミュニティデザインを専門として、全国各地のまちなかの活性化等、地域を主体とするまちづくりのコンサルティングを行っている。



講師紹介

中川 智之(なかがわ さとし)

株式会社アルテップ 代表取締役
認定NPO法人日本都市計画家協会常務理事
団地再生や密集市街地の改善、土地利用、景観まちづくり等を専門として、都市計画・まちづくりに関わるコンサルティングを行っている。

第2回講座 2019(令和元)年12月17日(火)18:30~20:00

場 所:PSオランジュリ(中央区中唐人町)

テーマ:防災の観光化 観光の防災化

墨田区北部地域の木造密集市街地において、空家を防火・耐震化改修し寄り合い所〜ふじのきさん家〜として再生し、これを核として防災・福祉・ものづくり活動を展開している事例を紹介し、大学・研究機関、地域包括支援センター、大学生のボランティア活動グループ、町内会、防災活動組織との連携により、多彩な活動を行っています。



講師紹介

土肥 英生(どい ひでお)

(NPO)燃えない壊れないまち・すみだ支援隊理事、
(NPO)ア!安全・快適まちづくり理事、
稲城市都市計画審議会会長、認定都市プランナー
都市計画、中心市街地活性化、環境都市計画、都市防災、など、様々な領域の研究・調査、政策立案に係る。



講師紹介

大鋸 幸絵(おおが さちえ)

NPO燃えない壊れないまち・すみだ支援隊
防災観光ふるしきプロジェクト発起人
東日本大震災後、キリン絆プロジェクトに参加し、防災活動に参加。現在は、地域に特化した防災啓蒙活動を日々模索中。

第3回講座 2020(令和2)年2月4日(火)18:30~20:00

場 所:PSオランジュリ(中央区中唐人町)

テーマ:歴史的環境の保全とまちづくり

東京都台東区谷中(やなか)界隈では、過去30年間の間に、伝統的木造建造物が300棟あまり取り壊される中、地域の有志が30棟あまりの空き家修復・再生を行ってきました。まちじゅう展覧会でものづくりと生活文化の見える化を行ってきた「芸工展」や、カヤバ珈琲の再生などの実践の中から、歴史文化と防災安全、心の安らぎ(安寧)を両立して住み続けるための工夫が必要であることがわかってきました。伝統木造建造物を、活用事業や法制度で守り、残し、新たに造れることをお話できればと思います。



講師紹介

椎原 晶子(しいはら あきこ)

NPO法人たいとう歴史都市研究会 理事長
株式会社まちあかり舎 取締役
あたりアルス株式会社 代表取締役
東京藝術大学 非常勤講師
地域プランナー、技術士(建設部門 都市および地方計画)

東京藝術大学の学生時代より、谷中界隈の路地の聞き取り調査などに取り組み、1989年、まちづくりグループ「谷中学校」の立ち上げに参加。山手総合計画研究所にて地域計画・都市デザインに務めたのち、2000年より東京藝大大学院非常勤講師、2001年にNPO法人たいとう歴史都市研究会を設立。台東区、谷中界隈の歴史的建物とまちの生活文化を生かす活動を行う。



熊本大学
五高記念館
The Memorial Museum of the Fifth High School

熊本地震による 被災文化財の 保存・活用の現在

2020.2.22.sat
13:00-16:30

熊本大学黒髪南キャンパス

工学部百周年記念館

(熊本市中央区黒髪 2-39-1 産交バス等【熊本大学前】下車)

申し込み・参加費不要 どなたでもご参加いただけます

主催：熊本大学五高記念館

共催：熊本大学五高記念館友の会

協力：公益財団法人文化財建造物保存技術協会 / 熊本大学施設部

後援：熊本県教育委員会 / 熊本県教育委員会

公益社団法人熊本県建築士会 / 一般社団法人日本建築学会九州支部

◇第1部 熊本大学における被災文化財の現在

報告者

公益財団法人文化財建造物保存技術協会事業部

熊本大学(黒髪北他)五高記念館他災害復旧工事

監理事務所工事主任 高橋 好夫 氏

熊本大学施設部施設管理課副課長 本田 護

◇第2部 未指定文化財の現在

基調講演 近代住宅の保存・活用の最新動向

「スクラップアンドビルド」から

「キープアンドチェンジ」へ

神奈川大学工学部建築学科教授 内田 青蔵 氏

パネルディスカッション

パネリスト

神奈川大学工学部 建築学科教授 内田 青蔵 氏

熊本高等専門学校 特命客員教授 磯田 節子 氏

財務省九州財務局管財部 国有財産管理官

古賀 輝 氏

コーディネーター

熊本大学五高記念館館長

伊東 龍一

SYMPOSIUM



重要文化財「江藤家住宅」(大津町)の復旧工事の様子



お問い合わせ：熊本大学五高記念館

Tel 096-342-2050 Fax 096-342-2051

mail goko@kumamoto-u.ac.jp

熊本まちなみトラストの経済状況	20,200,127	
【資産】		
郵貯銀行（寄付・会費納入用）	554,710	1期2期の会費等収入
振替口座（今期会費寄付納入用）	363,759	3期の会費等収入
肥後銀行1	653,473	（助成金収入）－（経費）
肥後銀行2（清永本店寄付用）	110,004	
資産計	1,681,946	
清永本店寄付分	(110,004)	
旧トラストから借入	(1,000,000)	
実質資産	571,942	
今期末までの出費予定		
HC財団助成金事業費未完分	400,000	
トラスト家賃光熱費 未払分	600,000	
	1,000,000	

1★今年3月までの財政が既に破綻している

2★NPO法人を来年度以降存続させるためには・・・

- | | | |
|--------------|-----------|----|
| ① 個人会員からの年会費 | 300,000 | ／年 |
| ② 法人会員からの年会費 | 1,000,000 | ／年 |

で、組織の維持費（事務所維持費60万＋職員人件費60万）をまかない

- ③ 助成金やクラウドファンディングで事業費をまかなう

というカタチをつくる必要がある。

3★法人会員獲得のためのProjectを立ち上げる必要がある
今がチャンス

★ 財政部会の立ち上げ 本日の決議事項